

人的資本経営・実践事例セミナー

構造的な人手不足の時代に、 中小企業経営者は「社員という経営資源」と どう向き合うべきか

少子高齢化による人口構造の変化やデジタル化による産業構造の変化に伴い、
中小企業を取り巻く人材課題は年々厳しさを増しています。

採用活動を行っても、必要な人材が確保できない
社員の処遇を良くしたい一方で、業績や生産性との両立に悩んでいる
経営者自身が現場を抱え込み、組織としての成長が停滞している

これらは、特定の業種・地域に限らず、多くの中小企業に共通した課題です。

本セミナーでは、中小企業の経営を担ってきた3名の社長から、構造的な人手不足の時代において、
社員をどのように位置づけ、どのような関わり方・仕組みづくりを行い、
組織として力を引き出してきたのか

について、実務に基づく事例を中心にご紹介いただきます。

2026. 3.19 (木) 13:00～15:00

参加費無料／オンライン（Microsoft Teams）開催

※アーカイブ動画を3月下旬頃より配信します。当日参加できない方も、視聴希望の場合はお申込みください。

第1部 13:00～14:30 講演

100年企業変化のしくみ
～早く・安く・賢く失敗させる～
株式会社シナノ 代表取締役社長 柳澤 光宏 氏

凸凹が噛み合い、役割と居場所が生まれたとき、組織は自走する
株式会社スリーハイ 代表取締役 男澤 誠 氏

「報酬」だけが人的投資ではない。中小企業こそ「機会」を渡せ！
～くすぶる人材が覚醒するまで背中を押し続ける、泥臭い人的資本経営～
ランナーズ株式会社 代表取締役 関根 壮至 氏

第2部 14:30～15:00 質疑応答

登壇者同士による質疑応答、視聴者との質疑応答を通じて、中小企業経営者が
現場で直面する「人材・組織」に関する課題について、多角的に掘り下げます。

講演者等の詳細やお申込み方法は裏面をご参照ください

100年企業変化のしくみ～早く・安く・賢く失敗させる～

株式会社シナノ 代表取締役社長 柳澤 光宏 氏



1973年、長野県佐久市生まれ。成蹊大学工学部を卒業後、大手グループ企業にて8年間勤務。2003年に株式会社シナノへ入社し、2011年より現職。創業100年を超え、スキーポール国内トップシェアを誇る同社の技術（コアコンピタンス）を生かし、登山用ポールや高齢者向けの杖、ウォーキングポールへと事業を展開。

「人生の半世紀にわたるお付き合い」を目指したものづくりと、社員の自律性を重視した組織づくりを推進している。

凸凹が噛み合い、役割と居場所が生まれたとき、組織は自走する

株式会社スリーハイ 代表取締役 男澤 誠 氏

2000年に父が創業した株式会社スリーハイ（本社：横浜市都筑区）に入社後、2009年に代表取締役に就任。2度の経営危機に直面するも、主力製品の絞り込みと強化、検索エンジン最適化などのネット戦略でV字回復を遂げる。同社は、主に産業用・工業用ヒーターの製造販売を行うモノづくり企業。2024年第14回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 審査委員会特別賞を受賞。



「報酬」だけが人的投資ではない。中小企業こそ「機会」を渡せ！
～くすぶる人材が覚醒するまで背中を押し続ける、泥臭い人的資本経営～

ランナーズ株式会社 代表取締役 関根 壮至 氏



新潟県出身。電子機器製造業、モバイル通信キャリア、外資系大手ソフトウェア企業（米国Microsoft日本法人）を経て同族が経営する企業（年商60億、社員数350名）の事業承継をアトツギとして経験。社長・会長時代には短期間で業績を伸ばし、現在は経営を次世代に託した後、自身の経営者経験を生かした後継者育成に取り組む。2023年法政大学大学院MBAコースにて経営修士修了（MBA）、同校の特任講師に就任、中小企業診断士登録。

申込方法

※アーカイブ動画を3月下旬頃より配信します。
当日参加できない方も、視聴希望の場合はお申込みください。

[https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/jinzai/
hcm_seminar.html](https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/jinzai/hcm_seminar.html)

【申込期限】2026.3.12(木)



【お問合わせ先】

関東経済産業局 地域経済部 産業人材政策課

電話：048-600-0358 メール：bzl-kanto-jinzai@meti.go.jp